



広報 おおの

平成18年（2006年）

No. 729



恐竜大きいなあ
(モニュメント帰還)

特集

まちなか遠足に強い味方

子育て支援「行動計画」の推進状況／6月18日は市長選挙の投票日／地域福祉計画を策定／がん検診と虫歯予防／デジタル放送／新コーナーが始まります／学びの里「めいりん」利用は9月から／市文化財に姥尊像 など

6月号

平成大野屋前にトイレ整備



まちなか観光に強い味方

まちなかを訪れた観光客や市民の利便性を向上させるため、整備を進めていた観光客用トイレが完成し、四月二十六日に利用を開始しました。場所はまちなか観光の拠点施設「平成大野屋」南側です。

今回整備したトイレは、鉄筋平屋建ての建物で、延べ床面積は三・四四平方メートル。総事業費は一千五百六十九万二千二百五十円です。

男性用トイレは小便器三基と洋式便器一基、女性用は洋式便器四基を備えます。そのほか、障害のある人や乳幼児同伴者に対応したユニバーサルスペースを確保しています。

二階蔵に一万二千人余が入館 まちなか「遠足誘致」にぎわう

市では、平成十五年度から「まちなか遠足誘致促進事業」を実施しています。昨年度までに県内をはじめ、石川県や岐阜県などから百九校、九千八百八十九人が本市を訪れました。「まちなか遠足マップ」を手にした児童や生徒が、市内を散策したり、スタンプラリーに参加して市内十カ所に設置されたスタンプ台を探したりする姿を見ることができます。



設置されたトイレ

散策ルートは越前大野城や武家屋敷旧内山家、本願清水イトヨの里などさまざま。昨年四月二十八日にオープンした平成大野屋「二階蔵」は、木の実や落ち葉などを使った工作体験が気軽に楽しめたり、昭和初期の七間朝市を再現したジオラマを見ることができたりするなど、遠足に訪れた人や観光客に人気の施設です。昨年度一年間で一万二千人余りの人が入館し、うち約二千六百人が体験活動に参加しました。入場は無料（体験は材料費が必要）ですので、ぜひお出掛けください。

問合せ先 観光課（☎66・1111
内線161）

子育て支援「行動計画」

17年度の推進状況

市では昨年、次代の社会を担う子供たちが健やかに育つ社会、子育てに喜びを感じられる社会の実現を目指し「次世代育成支援対策推進行動計画」を策定しました。現在、地域での子育て支援や要保護児童への対応など、七つの柱で施策を展開しています。

3人目以降 3歳未満児の保育料無料化

これまで3人以上の子供を持つ世帯で、第3子以降の3歳未満児が保育園に入所する場合、対象児童の保育料は基準額の10分の1でした。

4月からは少子化対策として、第3子以降3歳未満児の保育所保育料を無料としましたのでお知らせします。なお手続きは必要ありません。

問合せ先 児童福祉課子育て支援係
(☎66・1111内線292)

① 地域での子育て支援

子育て支援サービスとして、子育て交流ひろば「ちっくたっく」で、地域で子育てに関する悩みや不安の相談員として活動する「マイスター」を活用した講演会を実施しました。

保育サービスの充実として、延長保育をすべての保育園で、休日保育を聖念寺保育園で実施しました。病氣中や病後の回復期に家庭で看病できない子供を一時的に預かる施設として、栃木産婦人科医院内に「病児デイケアとちのき」を設置し、延べ百十八人が利用しました。そのほか公立保育園の統廃合に伴う増築工事を実施しました。

② 要保護児童への対応

児童虐待防止対策の充実として、平成十六年に設置した「児童虐待防止ネットワーク会議」の開催や実務者研修会の実施を通して、情報交換を行いました。

ひとり親家庭の自立支援として、日常生活をサポートする生活支援員

を派遣し、生活の安定を図りました。

③ 保護者と乳幼児の健康確保

平日働いている保護者が相談できる体制として、平日相談のほか休日の育児相談会を四回実施しました。不妊治療への支援として、国内の医療機関で保険診療の対象とならない検査と治療にかかる費用の一部を助成し、七人が利用しました。



マイスターによる講演会（ちっくたっく）

④ 仕事と家庭との両立支援

市内の従業員二十人以上の企業九

十二社を対象に育児休業制度に関するアンケートの実施をはじめ、育児休業の取得や男性の育児参加推進の広報啓発に努めました。

⑤ 生活環境の整備

親子が多く集まる場所におむつ台や授乳スペースを設置するよう、市内企業に働きかけを行いました。

⑥ 子供の安全確保

地域ぐるみで子供を守る取り組み強化として、登下校時のパトロールや外掃除などの呼び掛けを実施しました。

⑦ 教育環境の整備

地域に開かれた学校づくりとして、すべての小中学校で学校評議員制度を導入しました。

問合せ先 児童福祉課児童家庭係
(☎66・1111内線294)

人事異動（五月一日付）

五月一日付で、次のとおり人事異動を行いました。

部長級

▼和泉支所長和泉支所住民課長事務取扱・谷脇一治

退職者（四月三十日付）

▼野尻廣（住民課長）

6月18日(日)は、大野市長選挙の投票日です。



任期満了(七月六日)に伴う市長選挙が、六月十八日(日)に行われます。
選挙当日に仕事や冠婚葬祭などで投票に行けない人は、投票日前日まで「期日前投票」をすることができません。また、重い障害などのため投票所に行けない人は「郵便投票制度」が利用できます。手続きの方法など詳しくは、大野市選挙管理委員会(☎66・1111内線361)まで問い合わせください。
大野市の将来を決める大切な選挙です。必ず投票に出掛けましょう。

6月11日告示

告示・立候補受付

告示・立候補受付日 六月十一日(日)
立候補受付
時間 午前八時三十分～午後五時
場所 市役所

投票

日時 六月十八日(日)午前七時～午後八時

※和泉地区三投票所は午後六時まで
場所 投票所入場券に記載されている各投票所(入場券は十二日に発送します)

その他 投票所入場券を必ず持参してください。入場券が届かなかったり、紛失したりした場合でも、選挙人名簿に登録されている人は投票できますので、投票所の係員に申し出てください

開票

日時 六月十八日(日)午後九時二十分～
場所 有終会館

【ホームページでお知らせします】
投票日当日の投票速報(市内八カ所で抽出した投票率)や投票結果、開票速報、開票結果を市のホームページでお知らせします。

※ <http://www.city.ono.fukui.jp/>

期日前投票

日程 六月十二日(月)～十七日(土)
時間 午前八時三十分～午後八時
その他 投票所入場券が配布されている場合は持参してください。第一投票所から第二十五投票所までの人は大野市役所で、第二十六投票所から第二十八投票所までの人は和泉支所でのみ投票できます。自分の投票所は次ページの一覧で確認してください

郵便投票制度

身体障害者手帳の交付を受けている人などで、重い障害のため投票日に投票所に行くことが困難な人(ただし自分で文字が書ける人に限りません)は、在宅のまま郵便による不在者投票をすることができます。ただし事前に申請し、郵便投票証明書の発行を受ける必要があります。詳しくは問い合わせください。

また、郵便投票証明書を持っている人は、投票日の四日前(十四日)までに投票用紙の請求が必要です。早めに請求手続きをしてください。
問合せ先 市選挙管理委員会事務局

☎66・1111内線361

投票所一覽

自分の投票所を確認してください。詳しくは投票所入場券に記載されています。

投票所名		投票区の区域 (行政区)	期日前投票所	
第1	旭幼稚園	要町 本町全区 錦町全区 元町2区 元町3区 元町4区	大 野 市 役 所	
第2	有終西小学校	泉町全区 清瀧 城町全区 水落町全区 元町1区 明倫町1区 明倫町2区		
第3	有終会館	明倫町3区 明倫町4区 明倫町5区 日吉町1区 高砂町全区 天神町 飯降 鍛掛 新庄 春日野		
第4	日吉集会所	大和町全区 元町5区 元町6区 日吉町2区 日吉町3区 弥生町2区		
第5	南部児童センター	日吉町4区 日吉町5区 日吉町6区 弥生町1区 春日一丁目全区		
第6	大野和光園	上篠座全区 西里 西据 櫻		
第7	有終南小学校	春日二丁目全区 春日三丁目全区 若杉町 国時町 篠座町 糸魚町		
第8	文化会館	有明町 美川町全区 月美町 幸町		
第9	有終東小学校	清和町 美里町 吉野町 中挾町全区 中保 堂本 菖蒲池 東中		
第10	陽明中学校	南新在家 中津川 東中津川 横枕 友江 若里 中荒井町二丁目 陽明町一丁目全区 陽明町二丁目 陽明町三丁目 陽明町四丁目		
第11	下庄公民館	中野町一丁目 中野町二丁目 西市 矢 中荒井町一丁目 新町 城北町 東中野町		
第12	庄林会館	庄林 太田 大矢戸 小矢戸 西大月 東大月 北大野		
第13	乾側幼稚園	大門 尾永見 坂戸 花山 下丁 中丁 上丁 犬山		
第14	小山公民館	上舌 下舌 阿難祖地頭方 阿難祖領家 上黒谷 下黒谷 上荒井 深井 右近次郎 千歳 南春日野 下舌下全区		
第15	木本集落センター	大西出 中西出 中村町 荒子町 木本領家 宝慶寺		
第16	上庄公民館	森山 西山 平沢 野中 稻郷 上据 東山 御給 友兼 開発 森政地頭 下郷 医王寺 中据 猪島		
第17	五条方集落センター	今井 佐開 上五条方 下五条方		
第18	九頭竜森林組合	森政領家 下据 北御門 吉		
第19	森目小学校	森目 新河原 土布子		
第20	富田公民館	七板 土打 上野 富嶋 新田 下麻生嶋 川上 田野 井ノ口 塚原 新塚原 富塚		
第21	蕨生小学校	木落 蕨生 下唯野		
第22	松丸生活改善センター	森本 松丸 萩ヶ野 花房 不動堂 石谷		
第23	阪谷小学校	伏石 柿ヶ嶋 八町 大月 御領 橋爪 葦道 落合 堂嶋 金山 小黒見		
第24	(旧)六呂師小学校	南六呂師		
第25	ふるさと自然の家	上打波 下打波 東勝原 西勝原		
第26	和泉総合福祉センター	朝日 川合 貝皿 角野 板倉 ふなの木台 後野 前坂		和 泉 支 所
第27	大納地区集会施設	下大納 上大納 中龍		
第28	下山地区集会施設	下山		

地域福祉計画を策定

「住みたい・
住み続けたいまち」
実現に向け

個人が必要に応じてサービスを選択して利用する社会福祉制度への転換や少子高齢化の進展など、福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。

市では、障害の有無や年齢にかかわらずすべての人が「住みたい・住み続けたい」と感じられる地域福祉の実現を目指し、実態調査を行い、共通の理念と基本的な方向性を示した「地域福祉計画」を策定しました。

計画の趣旨

本市の高齢化率（総人口に占める六十五歳以上の割合）は平成十七年四月一日現在二六・一八割、合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に生む子供の数）は、平成十六年度は一・五八人となっており、少子高齢化が急速に進んでいます。

今回の計画は、市の地域福祉を推進するための基本となるもので、児童福祉部門の計画として昨年策定した「次世代育成支援対策推進行動計画」をはじめ、障害者や高齢福祉各部門の計画を包含したものです。

計画の期間は平成十八年度から二十二年度までの五年間です。「健康おおの21」や大野市社会福祉協議会の「ささえあいのまちプラン21」などとの連携を図っていきます。

基本理念と基本目標

第四次大野市総合計画に定める「住みたい・住み続けたいまち」の実現を基本理念とし、子供からお年寄りまですべての人がその人らしく安心して暮らせるまちづくりのための施策を展開していきます。

また、四つの基本目標を定め、市民と事業者、行政の協働による福祉

◎大野に住んで感じていること

大野の「まち」について「現状」（そう思う）と「重要度」（大切だと思う）にそれぞれあてはまるものを選択してもらいました。全体的に「重要度」としての評価よりも「現状」評価が厳しくなっています。「子供がのびのび育つまち」や「犯罪や交通事故の少ないまち」は重要と考えている人が多く、「障害のある人が生活しやすいまち」は現状と重要度の差が顕著となっています。

質問と回答

・ 子供がのびのび育つまち	重要度84.3%	現状39.4%
・ 犯罪や交通事故が少ないまち	重要度84.2%	現状41.9%
・ 歳をとっても安心して暮らせるまち	重要度83.2%	現状35.1%
・ 水や空気がきれいなまち	重要度82.6%	現状67.0%
・ 障害のある人が生活しやすいまち	重要度76.4%	現状17.5%
・ 子育てしやすいまち	重要度73.2%	現状28.9%
・ ごみが落ちていないまち	重要度71.9%	現状21.0%
・ 夢や生きがいを持って暮らせるまち	重要度65.6%	現状13.7%
（16問の設問。一部抜粋）		

調査の概要

対象 市内在住の15歳以上から無作為に抽出した2000人
方法 各地区の福祉委員による訪問留意（聞き取り）方式
期間 平成17年2月1日～11日
設問数 34問
有効回答数 1794人（89.7%）

のまちづくりを進めていきます。

1 利用しやすい福祉サービス

地域で生活する市民ニーズがサービスと適切に結びつくように、必要な福祉サービスを総合的に利用できる仕組みづくりと利用者の保護を旨とします。

- ▼総合相談体制の確保
- ▼ケアマネジメントシステムの充実
- ▼情報提供体制の整備
- ▼苦情への相談・対応の充実
- ▼福祉サービス利用援助体制の整備

2 地域の資源を活かす

地域資源を活用し、地域が自ら課題を発見・解決する福祉力を高め、また、福祉サービスを担う人材と福祉サービスの質の向上を図り、より良い事業活動を促進します。

- ▼地域における課題・ニーズの把握
- ▼福祉人材の育成
- ▼新規参入への支援・促進とサービス評価の推進

3 市民が参加する福祉

地域福祉を支える市民、福祉団体ボランティア、NPOなどの幅広い活動を支援し、市民が参加しやすい仕組みづくりを促進します。

- ▼情報提供体制の整備と「きつかけ」

サービスの充実

▼活動などへの支援

▼活動拠点の整備

▼小地域活動の活性化

▼住民交流の強化

▼福祉教育の推進

▼学習機会の充実

4 住みよいまち

保健・医療・福祉の連携のための拠点施設整備を検討します。ユニバーサルデザインのみちづくり、災害時の支援体制づくりを推進し、住みよいまちをつくるための基盤づくりを進めます。

- ▼保健・医療・福祉の連携
- ▼拠点施設の整備
- ▼高齢者や障害のある人が暮らしやすいまちづくり
- ▼災害ボランティアの充実
- ▼災害時の要援護者に対する援護体制の強化

概要版を全戸配布

本計画の概要版を「広報おおの」六月号と一緒に配布します。また、計画の全文を社会福祉課と市役所行政資料室で公開します。市ホームページでの公開も予定しています。

問合せ先 社会福祉課社会福祉係

(☎ 66・1111 内線471)

ホームページ

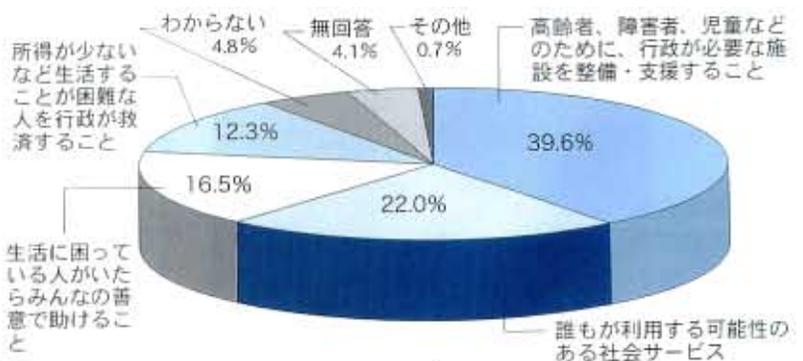
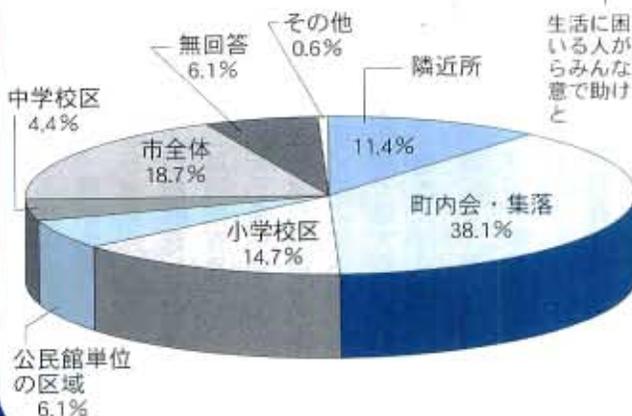
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

実態調査に見る市民ニーズ

計画策定に当たり、広く市民の地域福祉に関する意向を把握するため、実態調査を行いました。その結果の一部を紹介します。

◎あなたが考える地域の範囲

地域の範囲では「町内会・集落」が最も多く、次いで「市全体」、「小学校区」の順となっています。



◎あなたが考える福祉のイメージ

福祉のイメージでは、「高齢者、障害者、児童などのために行政が必要な施設を整備して支援」が最も多く、次いで「市民の誰もが利用する可能性のある社会サービス」、「日常生活で困っている人にみんなの善意で助けること」の順となっています。

保健・健康

がん検診を受けましょう 虫歯予防に努めましょう

「がん」検診と予防

市では、各種がん（肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん）の検診を五月から十月にかけて実施しています。日程など詳しくは「広報おの」折り込みの市民カレンダーをご覧ください。

昨年度は五つの検診で二万人余りの市民が受診しました。検診ごとの受診年代を見てみると、

六十歳代と七十歳以上の人が多くなっています。

がんの進行は、一般的に若い人ほど早く、症状が出たときには手遅れになっていることが多くなっています。そこで四十歳代や五十歳代の受診を増やすため、休日検診を実施します。申し込んだ人には検診前に、各地区の保健推進員を通じて受診を勧めるチラシを配布しますので、忘れずに受診してください。

平成17年度の検診別受診者数

	39歳以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
肺がん	167	179	575	1042	1348	3311
胃がん	71	180	335	615	665	1866
大腸がん	94	222	471	836	1154	2777
子宮がん	90	140	250	434	301	1215
乳がん	0	103	106	466	220	895

「虫歯」の予防

検診を受けてがんを早期発見しましょう。

毎年六月四日は「虫歯予防デー」です。昨年度、三歳児健診の歯科検診を受けた二百六十三人のうち、虫歯のあった子供は八十四人でした。

虫歯が多いと①食べ物がよくかめず消化吸収が悪くなる②発音がしつ

かりできず言語が不明瞭になる③あとに生えてくる永久歯もすぐ虫歯になる④など、悪い影響があります。日ごろから歯磨きを習慣づけ、保護者が仕上げ磨きをしてあげましょう。おやつは時間をきちんと決めるなど、だらだら食べることもないよう工夫しましょう。自分の歯は一生の宝物です。

保健衛生課では大野市歯科医師会と協力し、毎年六月と十一月に四五歳児を対象にフッ素塗布を無料で実施しています。対象となる人はぜひ利用ください。

問合せ先 保健衛生課（☎65・7333）

◆がん予防の八か条◆

（国立がんセンター）

- 一、たばこを吸う人は禁煙。吸わない人も、他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
- 二、適度な飲酒。具体的には、日本酒なら一日一合（ビールなら大ビン一本）程度。飲まない人は無理に飲まない。
- 三、野菜・果物を少なくとも一日四〇〇g取るようにする。
- 四、塩分の摂取は、食塩として一日十g未満にする。
- 五、定期的な運動。毎日一時間程度の歩行や、週に一回は汗をかく激しい運動を行う。
- 六、適正な体重の維持。BMIの数値なら二十以上二十七未満を保つ。
※BMI＝体重（kg）÷身長（m）の二乗
- 七、熱い飲食物は最小限にする。熱い飲み物なら冷まして飲む。
- 八、自分が肝炎ウイルスに感染していないかを確認する。

地域医療審議会委員を募集

地域医療について皆さんの意見を反映させるため、地域医療審議会の委員を募集します。

募集人員 2人

応募資格 市内に住む20歳以上で、地域医療に関心のある人

任期 平成18年8月1日～平成20年7月31日

申込方法 「大野市の地域医療に望む」をテーマに400字程度にまとめ、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し直接または送付

申込締切日 6月23日◎

（送付の場合は必着）

申込・問合せ先 保健衛生課

〒912-0061 大野市祿座117-6-1

（☎65・7333）

「地上デジタル放送」始まる

大野は来年から

今月8日に講演会開催

デジタル放送って?



ここが変わるの?

どうあれば見られるの?

ここが知りたい

「RINKU」G&A

五月一日から福井市など一部地域で「地上デジタル放送」が始まりました。テレビコマーシャルや新聞などで盛んに叫ばれている「地デジ」が大野市内で視聴できるのは来年からの予定です。ところで実際には「地デジって何?」と感じている人も多いのではないのでしょうか。市では、今月八日に「地域情報化講演会」を有終会館で開催します。地デジの楽しみ方など分かりやすく説明しますのび、ぜひお越しください。

Q 今までと何がかわるの?

まずテレビを通して見る画像や聞こえてくる音の質が良くなります。ほかにもデータ放送やEPG(電子番組ガイド)などが視聴できます。

Q データ放送って?

自分でリモコン操作すること、テレビを見ながら天気予報や最新ニュースをチェックしたり、プロ野球中継などでプレー中の選手データを確認したりすることができます。

Q 今のテレビで見れるの?

現在使っているテレビが地上デジタル放送対応であれば、視聴開始時に買い替える必要はありませんが、

対応していないテレビの場合、対応

テレビか専用チューナーの購入が必要となります。なお、いずれの場合も、UHFアンテナの設置が必要です。詳しくは電気店や量販店などで確認してください。

Q CATVでは?

CATV(ケーブルテレビ)に加入している人は、加入しているCATV会社に確認してください。

Q 今の放送はいつまで?

現在放送されているアナログ放送は二〇一一年(平成二十三年)七月で終了する予定です。それまでは移行期間として、アナログとデジタルの両方が視聴できます。

地域情報化講演会 in 大野市

入場無料
申込不要

日時 6月8日(木)午後1時30分～3時30分

場所 有終会館

内容 地上デジタル放送に関する講演会と体験コーナー設置

○午後1時30分～2時20分 「地上デジタル放送の展開」

講師 福田進吉さん(北陸総合通信局情報通信部長)

○午後2時30分～3時30分 「地上デジタル放送の視聴方法と楽しみ方」

講師 鎌裕利さん(NHK福井放送局専任エンジニア)

問合せ先 情報広報課(☎66・1111内線442)

情報通信月間 5月15日～6月15日

てくてく リポート



キャラクターデザイン
坂本裕子さん(富塚)

市民リポーターお目見え



石川 和栄さん
(31歳 木本)

①自分が知らない大野の魅力をまず自分自身で知って、一人でも多くの友達にこのすばらしい大野を伝えていきたい
②サルサ
③気軽に笑顔でインタビューに答えてもらえればうれしいです



廣瀬 心さん
(19歳 庄林)

①私自身も知らない大野の新たな魅力に出会い、自分自身で知り、市民の人に伝えたい。「広報おおの」を若い人にも見てもらいたい
②スポーツ
③より良い大野を伝えていきたいので、よろしくをお願いします



宮原 健太郎さん
(64歳 下掘)

①兵庫県出身で10年前に大野に来ました。他所より来たからこそ気付く大野の良さを発見し、市民の目線に立った記事をつくりたい
②溪流釣り
③地道な活動を取り上げていきたいので、よろしくをお願いします



中谷 早希さん
(20歳 中荒井町二丁目)

①生まれ育った大野が好きです。大学で「地域を元気にする」というテーマで学んでいることを生かし、活動していきたい
②野球観戦
③いろんな人に大野の良い所を知ってもらえるよう頑張ります



森広 梢さん
(26歳 下掘)

①幼少期に過ごした大野の魅力に導かれ戻ってきました。まちの再発見と大野人としての意識を高めるきっかけ作りをしていきたい
②染色
③新しい大野と一緒に見つけていきたいと思っています

七月号から始まる新コーナー「てくてくりポート」。このコーナーでは、今回応募のあった五人のリポーター自らが大野の魅力などを見つけてきて、取材から原稿作成までを担当し、皆さんに情報発信するものです。五人のリポーターを紹介します。あなたのところにもお伺いするかもしれません。

※リポーターの表記は順不同です。リポーターへの質問は①応募したきっかけ・動機②趣味・特技③市民の皆さんに一言の3つです

学びの里「めいりん」

施設利用は9月から

今冬の「平成十八年豪雪」による雪害でオープンが延期となっていた「学びの里」めいりん」の利用開始が九月一日に決まりました。市では、有終西小学校PTAや大野地区区長会に説明会を開催。施設を利用する有終西小学校の児童や市民の安全を第一に考え、十分な安全対策工事を実施します。

安全対策工事の主な内容は次のとおりです。

【安全対策】

- ▼「雪止め」強化と強度設定
当初予定していた雪止めより大きな部材を使用します。雪止めの数を増やすことや、雪止めに使用する金具の強度を高めます
- ▼「光庭」に雪囲いを設置
冬期間は中庭に面したガラスに雪囲いを設置します
- ▼安全対策の確認
雪荷重の研究を行っている福井工業大学の前田博司教授による助言を受けて安全を確認しています

今後の予定として、七月までに安

全対策工事を完了し、八月に引越し、九月から利用を開始します。

問合せ先 教育委員会庶務課（☎66・1111内線511）

住民監査請求を棄却

「学びの里」めいりん」の工事差し止めなどの勧告を求め提出されていた住民監査請求について、市監査委員会は四月二十八日、措置請求に理由がないものとして棄却しました。その中で「市長は落雪に対する予想と認識が薄かった」と判断しながらも、重大明白な違法性はないとしました。また、大野市と設計者など関係者は今回の事例を謙虚に受け止めるべきと指摘し、「めいりん」が安全性に留意した、市民に愛される施設となるよう望むとしました。

三月九日付で提出されていた今回の監査請求では、雪害を予測できたにもかかわらず、施設的设计や建築工事を契約履行したのは違法不当だとし、市民七人が工事の一部差し止めなどを求めています。

※監査結果の全文を市役所掲示板で公表しています

市文化財109件目の指定

洞雲寺の「姥尊像」

清瀧の洞雲寺に伝わる「姥尊像」が三月二十七日付で市文化財として指定されました。市文化財の指定は今回で百九件目、絵画や彫刻などの有形文化財としては八十五件目となります。

この像は彫り方から鎌倉時代に製作されたとみられ、高さは三〇・三センチ。乳房が下がって、ろつ骨が浮き出ており、頭髮が下がる典型的な姥尊像です。

姥尊像は立山信仰特有の宗教行事「布橋滝頂（ぬのばし）かんじょう」

で、「オンバサマ」という尊像として知られています。洞雲寺には白山信仰の本地仏聖観音像が伝来していることから、白山信仰と立山信仰の関連を研究する上で貴重な資料である点などが評価されました。

※市指定文化財

市が歴史・芸術・学術・観賞などの観点から価値が高いと認め、保存や活用を目的として指定した文化財のこと

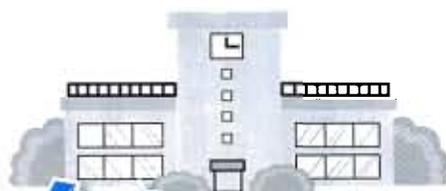
問合せ先 市歴史博物館（☎65・5520）



「姥尊像」データ

- ・製作年代 鎌倉時代
 - ・形状 像高30.3センチ
 - ・所在地 大野市清瀧124-8 洞雲寺
- ※立山信仰と白山信仰との関連で確認された全国唯一の姥尊像です。現在、市歴史博物館で展示しています

●学校教育の話題から文化、スポーツ、生涯学習まで市内の教育情報をまとめて紹介します。大野市教育委員会 ☎0779・66・1111



小中学校再編計画

共に学び協力し合う 学校教育を目指して

平成十八年四月一日から、六呂師小学校と阪谷小学校が統合し、旧六呂師小学校の児童四人と新一年生一人が阪谷小学校に元氣よく通学していきます。この統合は、大野市教育委員会が平成十六年四月に策定した「大野市小中学校再編計画」によるものです。

「再編計画」とは

この再編計画は、市内の児童生徒数が減少する中で、このままでは集団で行動することを得られる多様な経験や、集団生活ではくまられるコミュニケーション能力の形成が困難になるという危機感に立って策定されたものです。当初策定された計画の内容は次のとおりです。

- ▽小学校
- ▽六呂師小学校と阪谷小学校を統合する(平成十七年度)
- ▽蕨生小学校、森目小学校と富田小学校を統合する(平成十八年度)
- ▽小山小学校を有終南小学校の分校とし、小山小学校の五・六年生は有終南小学校

に通学する(平成十九年度)
▽乾側小学校を有終西小学校の分校とし、乾側小学校の五・六年生は有終西小学校に通学する(平成十九年度)

中学校

▽四校体制を見直し通学区域の再編や学校の統合などを検討して、一校あたりの生徒数が三百人程度となるようにする

※平成十八年五月一日現在の生徒数は開成中四百二十八人、陽明中四百四十七人、上庄中百十五人、尚徳中百八十五人となっています

現状と課題

少子化の進行によって、小中学校の児童生徒数は減少を続けています。学校によっては、異なる学年の子供たちが同じ教室で学ぶ複式学級を採用しているところもあります。児童生徒数が減少していく中で、小規模校では次の課題が挙げられます。

- 集団活動の制約
小学五、六年生の期間中は学校へ入学する準備として、

集団の中で切磋琢磨(せっさたくま)し、協力し合う方法を身に付けることが重要となります。しかし一学年が数人程度の学校では、体育をはじめとするさまざまな集団活動が制約され、十分に体験を積めないことが心配されます。

○教員の専門性

中学校の専門分野の教員を充実させるためには、一校三百人程度の生徒数が必要と考えられます。しかし生徒数の少ない学校では十分な教員確保は難しく、専門外の教員が指導せざるを得なくなっています。

○部活動の制限

中学校の部活動は、教科や道徳、特別活動と並び極めて重要な活動です。

しかし生徒数の少ない学校では、設置できる部活動の数

に限界があり、子供たちの希望に十分対応できていないといえませんが、

このようなことから、教育委員会では地元と話し合いをしながら、再編計画に取り組みたいと考えています。

元氣に通学 南六呂師地区の児童5人

今春に実施された六呂師小学校と阪谷小学校の統合は当初、平成十七年度からの実施を予定していましたが、

ながら、保護者や地元の理解を得て準備を進めていく必要があることから実施を一年延期し、話し合いを重ねてきま

小規模校 児童数の推移 (人)

学校名	平成15年度	平成18年度	平成20年度
小山小	64	57	59
乾側小	56	47	48
蕨生小	56	37	29
森目小	25	19	18

※数字はそれぞれ4月1日現在のもの
平成20年度分は現在の児童数から推定



スクールバスを利用する児童たち

した。話し合いの中で、児童の登下校に小学校専用のバスを用意してほしいことや、体育や行事などの交流学習を実施し、統合後スムーズに溶け込めるようにしてほしいなどの要望が出されました。教育委員会では内容について検討し、支援を行うこととしました。

また統合後、阪谷小学校で複式学級が生じたときは、補助教員の配置を行うことや、旧六呂師小学校の校地・校舎については、非常時の避難場所として施設を存続させることをきめ、市と区の代表による協議会を設置し、活用方法を決めていくことになりました。

スクールバスを利用している児童の保護者は「昨年度から体育などの授業で阪谷小学校の子供たちと交流しているのが戸惑いはないと思います。まだ緊張しながら通っていますが、クラスは楽しいと言っています」と話してくれました。

※この再編計画には、和泉小・中学校は含まれていません。和泉小・中学校の児童生徒五十五人は、今春から小中併設の新校舎で学んでいます

問合せ先 教育委員会学校教育課（☎66・1111内線521）

朝からしっかりと食べて元気



毎日朝食を食べている智志くん

小中学生の朝食事情

平成十七年十月に教頭会と栄養士協会在、市内全小中学校の児童生徒三千九百人を対象に行った、食に関する調査によると、朝食を毎日きちんと食べていない子の割合は、小学生で十一割（三百三十二人）、中学生で十三割（百三十二人）に上ります。これは

だより



食へないとどうなる

平成十七年に県内の小中学生を対象に県教育研究所が行った学力テストで、朝食を必ず取る子は、取らない子より全教科平均で十割以上も良い成績を残しました。朝食を取ることで、体温や

血糖値が上昇し、脳が活発に働き始めます。朝食を取らないと午前中に集中力が欠けたり、意欲がわかなかったりします。午前中から活発に行動するためには、毎日朝食を取る習慣をつけることが大切です。

おいしく食べるために

朝食をおいしく食べるためにはどうすればよいでしょうか。下麻生嶋の萬歩美和子さんは「うちには3人の子がいて、朝からでも食べますが、しっかりと食べさせるために子供の好みに合わせた朝食にしています。それとうちの子の場合、最初にヨーグルトを食べるとご飯も食べられるようなのでヨーグルトを出すなど工夫しています」と語ってくれました。「朝ごはんを食べないと、学校に行っても頭が回らないとおばあちゃんに言われるから、いつも食べてます」と小学二年生の智志くん。一日の活力につながる朝食を食べて生活リズムを規則正しくしましょう。



市民のページ

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで
☎0779・66・1111（内線441）

手作りの楽しさ伝えたい



ボランティアグループ「ほんわか会」は平成大野屋「二階蔵」で工作体験教室の運営を行っています。ほんわか会を営む市内三団体が協力しながら、誰でも簡単に工作などを体験できるようにしています。

二階蔵は明治二十年ごろ建てられた二階建ての蔵を、まちなか観光の拠点として市が整備したもので、昨年四月二十八日にオープンしました。一階は体験工房、二階は展示室となっています。

ほんわか会は、二階蔵のオープンに合わせて結成。現在会員は六人です。「遊びに来る人に、ゆったりとした雰囲気できれいに立ち寄ってもらいたいし、私たちも肩肘張らずに活動していきたい」と思い名付けました。お子さんの付き添いに来られた親御さんも、一緒に折り紙やクラフトを作っているうちに、昔を思い出して楽しんでくださっています」と代表の関園子さん。
この体験教室では、市販されている折り紙や、メンバー



が中島公園などから拾ってきた落ち葉や木の枝を用いて、子供でも簡単にできるおもちゃや動物などを作ります。時間も費用も掛からずにできるため、放課後に近所の小学生たちが体験していくこともあるとのこと。メンバーの一人は「身近な材料から何かを作ることが少なくなってきたので、来てくださる人たちが楽しそうにしているのを見るとうれしいですね。作った作品は持って帰れるので、お孫さんのためにと作ってお帰

りになる人もいます」と話してくれました。

木の葉と木の枝を組み合わせ、そこに目玉シールを張ってきたフクロウ、折り紙を巧みに使って表現した恐竜やこいのぼりなど、来館者が体験できる作品は十数種類に上ります。二階に作品を展示している水野政雄さんから指導を受けたり、折り紙の本などを参考にしたりして、メンバーを考えているそうです。

「私たちの活動が、市が進めている体験型まちなか観光に少しでもつながれば」「折り紙や工作体験を通して、手づくりの温かさや楽しさを伝えたい」「まちなか遠足で二階蔵に来た子が、休日に家族と一緒にもう一度来てくれてうれしかった」とメンバーの皆さん。

お孫さんと一緒に折り紙製作を体験した人は、「親切丁寧に教えてくれるのでとても分かりやすかったです。また手指を動かす折り紙は、子供の教育にいいですね」と語ってくれました。

こんにちは



木下 智仁さん (大野高校2年)

木下さんは、3月に埼玉県で開かれた全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会で初優勝しました。

——競技を始めたきっかけは
高校に入ってからには特に何もしていませんでしたが、昨年7月に体を動かしたいと思って、ジム

「世界と戦える力付けたい」 パワーリフティング全国大会で初優勝

へ行ったのが始まりです。

——パワーリフティング競技とは
持ち上げたバーベルの合計重量を競います。バーベルを肩に担いで立ち上がるスクワット、床に置いた状態から垂直に引き上げるデッドリフト、台にあお向けに寝た状態から持ち上げるベンチプレスの3種目があります。

——初めて出場した大会はどうでしたか
会場に行くまではすごく緊張していましたが、会場に入ってから落ち着きました。競技中は練習でお世話になった、ジムの人たちに優勝という形で恩返しをしたいという思いで目の前のバーベルを上げました。優勝が決まった時は正直、実感はありませんでした。

——日ごろの練習で気を付けていることは
基本を大事にということと、バーベルを必ず上げると強い気持ちで臨むことを心掛けています。

——9月に開催される世界選手権への出場が内定しているそうですね

世界との力の差がまだまだあるので、今回は出場を見送ることにしました。1年間しっかりと練習して、世界と戦えるだけの力を付けたいです。

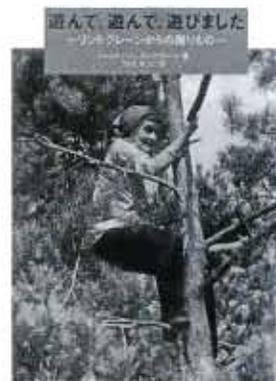
【一般小説】
家の背中 (秋元康) バイアウト上・下 (真山仁) 星を覚えて (デイヴィッド・アーモンド) 木もれ陽の街で (諸田玲子) 屋久島ジュウソウ (森絵都) とこへも行かない (林望) イラクサ (アリス・マンロー) イルカ (よしもとばなな)
【ノンフィクション】
逃亡 (小林弘忠) 素材の味を食べる (野崎洋光) K2 非情の頂 (シエラファール・ジョーダン) 「話す」の壁 (久世光彦) 宮部みゆきの江戸レシビ (福田浩)

新着図書

みんなの図書館

【児童図書】
ならの大仏さま (加古里子) めんどりがやいたパン (小椋山童男) きつねものがたり (ヨセフ・ラダ) チム・ラピットのぼうけん (アリソン・アトリー) 黒猫が海賊船に乗るまでの話 (古市卓也) 三日月ジョニー (竹下文子) こくまのくまくん (E・Hミナリック)
【絵本】
みんながいこつ (たなかひろこ) 夜明け前から暗くなるまで (ナタリー・キンジー・ワーンノック) ホームランを打ったことのない君に (長谷川集平) エドワルド (ジョン・バーニンガム) その他、三百二十九冊入りました。

読書のススメ



『遊んで、遊んで、遊びました ~リンドグレンからの贈りもの~』
シャスティーン・ユンググレン 著
うらたあつこ 訳 (ラトルズ) 2005刊

リンドグレンはスウェーデンの作家です。日本では1964年に『長くつ下のピッピ』が翻訳出版されて以来、たくさんの作品が読まれています。

この本は著者が84歳のリンドグレンを訪ねた時のインタビューを基に、リンドグレン作品の魅力的な登場人物や秘密、子どもと遊びの関係や影響について書かれています。リンドグレン作品が支持され続けている理由について、「一番楽しかったのは子ども時代で、自分自身が愛情いっぱいのもとも幸福な子ども時代を過ごしたから」と、述べています。

お知らせ

青少年健全育成目指し大会

青少年育中野大



家庭・学校・社会が丸となつて青少年に対する理解と関心を深め、その健全育成に努めるため、「大野市青少年健全育成推進大会」を6月24日⑤有終会館で開催します。

日程（午後1時～受け付け）
午後1時30分～指導者啓発手紙入選者表彰
午後2時～少年の主張
午後2時30分～記念講演
講師 松田勇二さん（県農畜産課）
演題 食の大切さと子どもへの影響

問合せ先 教育委員会社会教育課（☎66・1111内線541）

市営住宅の入居者募集

都市整備課

- 西里団地
規格 3K風呂無・トイレ有
募集戸数 1戸
家賃 月額6600円～1万2000円
- 中挾団地
規格 2DK風呂・トイレ有
募集戸数 1戸
家賃 月額1万8100円～3万円
- 【共通事項】
資格 一定の収入基準範囲で住宅に困っている人
申込締切日 6月20日⑤
その他 町家住宅も若干空家あり
- 申込・問合せ先 都市整備課
住宅緑地係（☎66・1111内線356）

必ず届け出を建物取り壊し・売買など

税務課

固定資産税は、毎年1月1日に所有している土地・家屋・償却資産について課税されます（課税の基準日）。

建物を取り壊した場合や、未登記の建物を売買・贈与などをした場合は、必ず税務課へ届け出てください。

届け出がない場合、継続して課税されることもありまのでご注意ください。

届出・問合せ先 税務課資産税係（☎66・1111内線426）

生涯学習の指導者資格

社会教育課

市では生涯学習活動を支援する指導者を養成するため、生涯学習インストラクター資格の取得費用の一部を助成します。ただし、指導補助や支援を行う2級インストラクターが対象です。

対象 生涯学習に関心のある18歳以上の市民（学生は除く）

要件 文部科学省が認定する社会通信教育「生涯学習指導者養成講座・生涯学習ボランティアコース」を平成18年度中に修了すること

定員 5人（先着）
助成額 3万2500円（受講料）

臨時休館

越前大野城市歴史博物館

越前大野城と市歴史博物館では館蔵資料、施設の殺虫を行います。劇薬物を使用するため、臨時休館とし、館内の立ち入りを禁止します。

日程
●越前大野城 6月20日⑤～23日⑤
●市歴史博物館 6月22日⑤～25日⑤
問合せ先 市歴史博物館（☎65・5520）

観光課事務室の臨時移転

市歴史博物館に隣接する観光課は、職員と来訪者に薬害の恐れがあるため、作業期間中は事務室を移転します。

移転先 6月22日⑤ 談話室
6月23日⑤ 別館第一会議室
問合せ先 観光課（☎66・1111内線161）

歴史博物館講座

受講生を募集

歴史博物館

歴史博物館講座「モノから学ぶ大野の歴史と文化」を開催します。今回のテーマは白山の文化財です。全10回の開

料と資格申請料の5割）
申込期間 6月1日⑤～30日⑤

申込・問合せ先 教育委員会社会教育課（☎66・1111内線542）

催を予定しています。（今回は2回目）
日時 6月10日⑤午後1時30分～午後3時

場所 有終会館
定員 50人
申込締切日 6月9日⑤午後4時

申込方法 電話、ファクスまたはEメールで、住所・氏名・連絡先を連絡
申込・問合せ先 市歴史博物館（☎65・5520）

Eメール hakubutsukan@city.fukui-ono.lg.jp

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

忘れずに！児童手当の現況届

すでに児童手当を受けている人は、6月中に次の書類を提出する必要があります。提出がない場合、6月分以降の支給が停止されます。

- 6月1日の状況記載届
- 健康保険証のコピー（必ずコピーを持参ください）
- 前住所地の所得証明書（1月1日に大野市に住所がなかった人のみ）

所得要件 支給を受ける要件に所得制限があります。この所得制限額は、年金の種別や税法上の扶養親族数などで変わります

※支給を受けている人が所得税にかかる更正の結果、所得額や扶養親族数などに変更があった場合、支給済みの児童手当の返還が必要となる場合があります

届出・問合せ先 児童福祉課子育て支援係（☎66・1111内線293）

国民年金

国民年金の保険料を納めている人が、付加保険料を上乗せして納めると付加年金を受け取ることができます。

付加年金は、老齢基礎年金の受給権を取得したときに、老齢基礎年金に加算して支給されます。老齢基礎年金の繰り上げ、繰り下げ支給を受けたときは、同じ率で増減額されます。なお、年金額の物価スライドが行われても、付加年金は改定されません。

付加保険料額 月額400円

付加年金額（年額）

200円×付加保険料納付済月数

申込・問合せ先 市民課国保年金係

（☎66・1111内線456）

市民のうごき

	5月1日現在	前月比		
世帯数	12,286世帯	5世帯		
人口	39,560人	-30人		
内 男	18,868人	-25人		
内 女	20,692人	-5人		
4月中の異動	転入	100人	出生	21人
	転出	110人	死亡	41人

生涯学習ガイドブック発刊



生涯学習人材活用事業やわくわくお届け講座、生涯学習に利用できる視聴覚機器などを掲載した「平成18年度生涯学習ガイドブック」を6月上旬に発刊します。

図書館や各公民館などの社会教育施設、各区などに配布しますので活用ください。個人や団体などでガイドブックを希望する人は、問い合わせください。

問合せ先 教育委員会社会教育課（☎66・1111内線543）

不妊治療費を助成

保健衛生課

保険診療適用外の不妊治療

問合せ先 保健衛生課（☎65・7333）

食中毒に注意

保健衛生課

暑くなってくると食中毒が多発します。食中毒は、菌が付着し増えた食品を口にすることで発生します。

家庭での食中毒を防ぐための点に注意しましょう。

▼手洗いはこまめに、まな板や包丁もきれいにしてから使い、食品に菌を付けない

▼食品を冷蔵庫で保存し、菌を増やさない

▼食品を十分加熱し、殺菌する

について、治療費の一部を助成します。

対象 市内に1年以上住所を有する夫婦

助成額 検査と治療費の2分の1（上限10万円）

対象治療法 人工授精、体外受精、顕微授精

申込方法 保健センターにある所定の申請書を提出

その他 助成医療機関が拡大しました。詳しくは問い合わせください

申込・問合せ先 保健衛生課（☎65・7333）

電気さく設置補助 希望集落の要望調査

農政課

サルやイノシシなどの有害鳥獣から農作物を守るため、平成19年度に電気さくを設置

する予定で補助を希望する集落について、事前に件数などの調査を行います。

対象 全農家戸数のうち50戸以上の農家が被害を受けて

おり、電気さくを来年度購入予定の集落

問合せ先 農政課農業振興係（☎66・1111内線318）

木のぬくもり ぬくぬくコンサート



木のぬくもりぬくぬくコンサートを開催します。ファゴット、チェロ、ピアノによる三重奏をお楽しみください。

日時 6月3日(土)午後7時開演
(午後6時30分開場)

場所 平成大野屋平蔵

入場料 前売1000円 当日1200円

問合せ先 教育委員会文化振興室
(☎66・1111内線546)

春の味覚山菜市

春の恒例行事「七間朝市山菜フードピア」が5月13日、14日に開かれました。山菜など春の味覚が販売されたほか、花の苗大即売市が行われ、市民や大勢の観光客でにぎわいました。



お待ちかねのいろり火入れ

国重要文化財の旧橋本家が5月3日から一般公開されました。今年は大雪の影響で例年よりも遅い公開。湿気、虫などの被害から建物を守るため、いろりに火が入れられました。



「神様を知ろう」

「大野の神様を知ろう！」をテーマに5月14日、有終会館で歴史博物館講座が開催されました。普段、なにげなくお参りしている近所の神様の意外な由来や歴史的背景などが解説され、参加者は興味深そうに聞いていました。



話題のひろば

青少年推進員を委嘱

5月13日有終会館で青少年育成推進員委嘱状交付式が開催されました。2年間の任期中、地域に根ざした青少年の育成活動を推進することなどを目的として町内・集落ごとに1人配置されます。



代表12人に委嘱状を交付



区民一丸で清掃

4月22日和泉地区で、本格的な観光シーズンに備えてクリーン・アップふくい大作戦が行われました。区民約300人が参加し、国道158号沿いを中心に空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などを丁寧に拾っていました。



ユーモラスに里神楽

4月20日篠座区で、700年の歴史を持つ伝統芸能の神楽が奉納されました。笛と太鼓に合わせた登場人物のユーモラスな動きが、見物客の笑いを誘っていました。



貯筋で健康増進

週2回以上の運動を継続する人を増やそうと、「さわやか貯筋運動」が5月1日、有終会館で行われました。84人が参加し、健康運動指導士の山崎千代美さんから正しい歩き方とストレッチの方法を学びました。

表紙のことは

道の駅九頭竜のシンボル、ティラノサウルスの親子モニュメントが4月20日に戻ってきました。このモニュメントは1996年、和泉地区で世界最古級のティラノサウルスの歯の化石が発見されたことにちなんで、2000年に開催された恐竜エキスポ開催を機に設置されたものです。親は全長12m、高さ3.8m。子は全長4.6m、高さ1.8mあります。昨年11月24日からの長い「冬眠」。約5カ月ぶりの雄姿を一目見ようと、近くの和泉保育園園児が見学に来ていました。園児らは最初、恐竜の大きさに圧倒され、「怖い」と言いながら遠くから眺めているだけでしたが、2頭が定位置にセットされると近くの葉っぱを摘んできて「食べるかな」と口に運ぼうとするなど、2頭の帰りを喜んでいました。

編集後記

福井県内で「地上デジタル放送」が5月1日から始まりました。高画質・高音質なハイビジョン放送のほか、ニュースや天気、地域情報が見られるのが特徴です。市内でも2007年から順次デジタル放送が視聴できるとのこと。6月8日に有終会館で「地域情報化講演会」が開催されます。ぜひ、地デジを体験してみてください（林）

いづみ探訪



このコーナーでは、和泉地区の観光スポットや、名所・旧跡などを紹介します。



【概要】

角野にある「九頭竜国民休養地」は、総面積77㊦の広大な敷地に全天候型のテニスコートをはじめ、車60台分のスペースが確保されたオートキャンプ場、バーベキュー広場などを整備しています。敷地内にある国民宿舎パークホテル九頭竜では、大人一人1泊7000円台での宿泊はもちろん、休憩施設として日帰り入浴を利用することができます。

【施設の種類の料金】

全天候型 テニスコート	1時間800円
オートキャンプ場	1区画3500円
25㊦プール	大人300円 高校生以下150円

※プールの営業は7月22日④～
バーベキュー広場は1人2600円～
(食材費、炭代、網代を含む)

九頭竜国民休養地 (角野14-13 ☎78・2326)



先日、老後の蓄えが狙われる。というテレビ番組に見入ってしまった。長い老後の不安から大切にしていた退職金を

確実にもうかる金融商品で人気があると勧められ、よく理解せずに投資した。その後思わぬ損失に驚き、取り戻したい思いで追加投資を続け、元金を取り戻しかけた所で取引業者の破産という最悪の結末となり、老後の蓄えをすべて無くした▼最初の損失の時点ですべて解約しなかつたのかと後悔し、それまでは大丈夫と泣いている人を見て、世の中そんなにうまくもうかるわけではないと思っただけはまっていったという。確かに「一たらの、れば一付きのうまい話は：である▼それと「振り込め詐欺」の被害が大型化している。手口は既に知れ渡っているにもかかわらず被害が減るところが高齢者、女性、三十歳未満の若い世代、中高年層とターゲット別の詐欺が横行している。ここ興越でも昨年の豪雪を利用して、一人暮らし高齢者から高額な屋根雪下ろし料金をだまし取ったと聞き、人の弱みにつけ込んだ悪質な手口だと情けない思いであった▼日ごろ①年金など老後の蓄えが心配だ②最近、貯金が減ってきて不安だ③ニュースなどは結構見ている方だ④私は絶対にだまされるはずがない⑤だまされる人は相当運が悪い→と思うと、このような心のすきをつかれたときが危ないというが、これは誰もがあてはまることである。更なる強い意識が必要だ(小林)